

# 市政を問う

## 一般質問?



3月定例会における市政に関する一般質問は、3月2日に行われ、4人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は6月1日頃から半田図書館・亀崎図書館等に設置された会議録でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。  
※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

**問**  
多くの健康で元気な高齢者が自宅で過ごし、介護予防をしていない現状があります。65歳以上の元気な高齢者が、介護施設や在宅等において、要介護者に対する支援ボランティア活動

地域のお助け隊やボランティアの方が要支援者のご自宅を訪問し、傾聴やゴミ出し、草刈り等を行う訪問型の事業と公民館等の通いの場で、体操等を行う通所型の事業があります。

**問**  
住民が主体の地域づくりとなる「介護予防・日常生活支援総合事業」が始まっていますが、地域住民が担う事業について伺います。

介護ボランティアポイント制度の導入

**坂井美穂**  
(公明党)





出展：稲城市

介護ボランティアポイント制度については選択肢の一つとして、先進自治体の事例を調査していきます。

**問**  
介護予防サービスを担う有償ボランティアは数人と非常に少ないです。ボランティアポイント制度の導入が有償ボランティアの担い手の裾野を広げる可能性があると考えますが、見解を伺います。

これまで通り、有償ボランティアを増やす取組みを行っていきます。

**問**  
を行った場合にポイントを付与する、介護ボランティアポイント制度を導入すべきと考えますが、見解を伺います。

回覧板や掲示板、災害時の安否確認、役員などの会議や打ち合わせのオンライン開催など、情報共有の効率化や負担軽減、住民の安全性向上に

**問**  
近年、多くの区、町内会が、運営負担の増大、担い手不足、活動者の減少等の課題を抱えています。町内会活動の課題を解決し、活性化を図るには、運営負担の軽減や、若い現役世代に活躍してもらうなどの新たな工夫が必要で、これらの課題解決の一環として、地域活動のデジタル化(電子町内会や、デジタル回覧板等)が有効であると考えますが、見解を伺います。

地域活動におけるDX推進を問う

**岩田玲子**  
(創造みらい半田)





コミュニティ環境整備補助金制度等を活用したデジタル機器の購入や自治区向けソフトの導入支援など、自治区が具体的に検討できるように市民協働課とデジタル課が連携して取り組みます。半田市区長連絡協議会で、情報交換の場を設け、実践に繋げていくよう働きかけていきます。また、デジタル化の相談に対応できるように取組んでいきます。

**問**  
自治区のデジタル化を進めるため、機器や、自治区向け専用アプリなど、環境整備に対して支援や補助を行う考えはありますか。

有効で、持続可能な地域づくりにおいて、意義のあるものと認識しています。

市政を問う  
一般質問 (質問議員が執筆しています)